

計画書記入例

島根県文化ファンド申請事業計画書

※記入例を参考に作成してください。

団体名		
(1)申請事業の概要をわかりやすく具体的にご説明ください。(詳細は下段に記入。)		
活動拠点である A 市内にある史跡「〇〇」を題材にした演劇を、その史跡と関係が深い B 町で上演する。脚本、演出、舞台監督などは団体自ら手がける。制作や舞台道具では地域各種文化団体などに協力してもらう。また、B 町在住の方にも一部出演してもらう。上演後には観客交えたアフタートークを実施する。		
(1)の詳細(日時、会場、出演・共演者、演目名称、公演回数など。)		
日時：〇月〇日(日) 会場：C 市 B 町 ①公演：開演 14:00 (終演予定 15:20) 作・演出：〇〇(団体代表) 協力：〇〇 出演：団体会員(〇名)、B 町在住の方 舞台道具：B 町文化協会加盟団体 ②アフタートーク：15:30～(約 40 分) ・観客、出演者のほか、郷土史研究会、 *演奏会などの場合 1 部：曲数〇曲(約〇分)、共演者・・・ 2 部：・・・の様にプログラム紹介を入れてください。		
(2)この事業は島根の文化振興にどのような効果が期待できますか？どのような目的で実施されますか？分野(地域文化・芸術文化・国際交流)に絡めて簡潔にご記入ください。		
・演劇活動や公演が少ない地域に出かけ、演劇の楽しさや多様性を伝えることを目的としている。また、既存のもの(題材や会場)を有効に活用し、新たな魅力を発信することを目指す。 ・この事業を通して、島根の文化に関する現状をどうしたいですか？ ・B 町は、現在 UI ターン者も多く、地域おこし活動も盛んなので、彼らも巻き込み、文化を活用した地域づくり・地域間交流の実践につなげたい。		
(3)事業のポイント * 過去の実績有無によって記入内容が異なります。「具体的」且つ「明確」にご記入ください。		
①今回初めて行う事業(新規企画事業) → 事業の特色や工夫点、特に力を入れることなど。 ②継続事業・過去実施経緯のある事業 → 新たに工夫した点、前回より発展・改良させた点など。(前回との違い)		
< ①・② > ← いずれか記入		
この欄は重要です！一行目に番号(①か②)を記入し、設問に沿って具体的にご記入ください。 ・団体の歴史や特徴、招聘した講師やゲストの紹介で欄を埋めないでください。 ・継続型事業の場合、前回の成果・課題をどう反映させるのか、また新機軸や工夫点を必ずご記入ください。 過去に3回助成を受けた再申請の団体は、以前の内容より進歩・発展した点も、必ず記入してください。 ※「県民文化祭共催事業」で、5回以上助成を受けた事業を申請する場合、新機軸や具体的な改善点の有無で採択可否を判断します。必ず記入してください。		
(4)申請事業における継続計画をご記入ください。 * 団体の継続性ではなく事業の継続性		
・来年 2 月に〇〇市で開催される「〇〇フェスティバル」に出場し再演する。 ・2 年に 1 回は移動公演を計画したい。 ・(海外事業の場合) 〇月の定期公演で・・・など具体的に。		

(1)では、ズバリ概略が分かるよう、簡潔にご記入ください。※抽象的な書き方はしないでください。

・(1)の詳細を箇条書きで具体的にご記入ください。
 ・事業によって記入項目が異なります。
 ・発表する作品数が多い場合は、細かく名称を記入せず、「約〇曲(作品・点)」等と記入してください。
 ・ゲストがある場合、簡単なプロフィールを付けてください。

この事業を行う目的はなんですか？どんな影響を与えたいですか？
 島根の文化に関する現状をどうしたいですか？

この欄は重要です！一行目に番号(①か②)を記入し、設問に沿って具体的にご記入ください。

・団体の歴史や特徴、招聘した講師やゲストの紹介で欄を埋めないでください。
 ・継続型事業の場合、前回の成果・課題をどう反映させるのか、また新機軸や工夫点を必ずご記入ください。
 過去に3回助成を受けた再申請の団体は、以前の内容より進歩・発展した点も、必ず記入してください。
 ※「県民文化祭共催事業」で、5回以上助成を受けた事業を申請する場合、新機軸や具体的な改善点の有無で採択可否を判断します。必ず記入してください。

継続計画があること、また、ほかに事業効果を生かせる場があることは採択に有利です。